

2ページで紹介した平塚さんと戸田さん。市へ派遣されて5カ月がたち、それぞれが持っているノウハウを十分に発揮しながら活動されています。お2人が具体的にどのようなお仕事をされているのか、その姿を追いました。

天草産品のPRと販路拡大が着々と進む

8月8・9日、平塚さんは市産業政策課の職員とともに羽田空港（東京都）へ。同空港に着早々、平塚さんは近くにいた全日空の同僚職員を呼び寄せて、「これ、みんなで食べて」とあまくさ晩柑を手渡し、しっかりと天草をPR。その後、同空港内に併設されたホテルでは、同ホテルが9月から11月に開催する九州の食材を使った料理フェアの打ち合わせを実施。同フェアでは、地鶏の天草大王を使った料理が提供されることが決まっています。



▲熱心に話をしている平塚さん



▲羽田空港内の全日空事務所に立ち寄り、同僚職員と近況を報告し合う平塚さん

そして翌9日には、天草への長期滞在を想定したモニターツアー（試験的な旅行商品のこと）のほか、10月19日に同空港内で開催される天草PRイベントについて、旅行者などと企画会議を実施。どのようにすれば企画が成功するか、天草がPRできるか、真剣な議論が繰り広げられていました。

これらの企画はすべて、平塚さんが長年培ってきたノウハウを活用して実現したものです。平塚さんが担当している天草産品の販路拡大に向けた取り組みは、着々と進んでいます。

おもてなしの伝道師として ―戸田佳奈芽さん

戸田さんは4月に市へ派遣されて以降、おもてなしに関する講演会を9回開催。おもてなしの伝道師として、精力的に取り組まれています。

6月28日、市内の観光事業者を対象にした観光事業者向けのCSセミナーの講師として参加した戸田さん。講演では、航空機の客室乗務員や客室内の責任者であるチーフパーサーとして約15年勤務された経験をいかして、接客やクレーム対応、お客様の心理について講義。「相手の立場や背景に思いを巡らせた



▲講演を行う戸田さん



▲同校の児童と記念の1枚

行動を」と話していました。このほか、7月17日には本渡東小学校の6年生13人に職業講話を実施。同社の制服に身を包んだ戸田さんは、飛行機に関する話や客室乗務員の業務内容などについて解説していました。

参加した児童からは、「客室乗務員になるには何力国語が話せたらいいの?」「何でスカーフを巻いているのですか?」などの質問があり、戸田さんははていねいに答えていました。

※Customer satisfaction（カスタマーサティスファクション＝顧客満点）

Voice
～声～

何度でも訪れたいような「天草」に

社内公募に応募して、天草に参りました。天草にお越しになったお客さまが、今後何度でも訪れたいようなおもてなしの気持ちや、島民の皆さんといっしょになって醸成していけるように微力ですが努めています。皆さん、どうぞよろしくお願い致します。



Voice
～声～

「天草」を全国へ発信しています!

天草という言葉の認知度は、住民の皆さんの想像をはるかに超えています。こちらに来てみて思ったことは、全国に向けて発信できる魅力あるモノやコトが、実際にたくさんあるということです。天草を全国にPR、そして産品の販路拡大に向けて精一杯がんばっています。

―平塚正巳さん

二地域就労促進事業への参加企業を募集しています!

二地域就労促進事業に取り組む企業を随時募集しています。企業の皆さんと地域の双方がメリットを得られるプロジェクトであれば、事業分野は問いません。

詳細は、本庁・政策企画課へお尋ねいただくか、二地域就労促進事業のホームページ (<http://hp.amakusa-web.jp/a0942/MyHp/Pub/>) をご覧ください。

【問い合わせ先】 本庁・政策企画課 ☎21111

天草産品をアジア・オセアニアへ

〈市内企業〉
株式会社天草権現ファーム(亀場町)

〈市外企業〉
株式会社佐藤長八商事(東京都)

食品総合商社である株式会社佐藤長八商事が、以前から取り引きがあった市内の事業所の熱意に魅了され、株式会社天草権現ファームを設立。地元の農・水・畜産物を使って加工品の開発・生産を行い、同商事が持っている国内・アジア・オセアニア圏の販路を活用して、販売が行われます。

天草ならではの引出物カタログづくり

〈市内企業〉
地元の事業者など

〈市外企業〉
株式会社高木富士川計画事務所(熊本市)

同事務所は、建築設計をはじめ都市計画やまちづくりを行う企業。天草での地域活性化の業務を通して、知り合った地元の生産者や事業者の皆さんと市内外の消費者を結ぼうと、天草の農林水産物や加工品、伝統工芸品など37品を収録した引出物カタログを制作されました。

グランドリーフの生産拠点の形成

〈市内企業〉
熊本部品(株)(楠浦町)

〈市外企業〉
株式会社果実堂(上益城郡益城町)

熊本部品(株)は自動車部品を製造する企業。雇用を維持するため農業へ参入し、市内3haの農地で野菜のベビーリーフの栽培をスタート。その後、株式会社果実堂の指導を受けて「グランドリーフ」の生産を開始。ベビーリーフの生産量の拡大、雇用の増加につながっています。

現在進行中の主なプロジェクトを紹介!